

さとう健一郎

鳥海山麓圏域の大動脈である国道108号の矢島町・前杉バイパスは着々と事業が進行し、鳥海町・矢ノ本バイパス計画も秋田県の平成25年度開始・新規事業対象事業として承認された事は喜ばしい事です。

前杉バイパス工区は平成16年度から事業を開始し、総事業費40億円で早期の供用開始に向けて事業が着々と進行しております。

矢ノ本バイパス工区は、総事業費13億円で平成25年度から事業を開始し、平成31年度の供用開始を目指して事業計画が決定されました。

▶矢島町・前杉バイパスと鳥海町・矢ノ本バイパスの位置図



鳥海山とそれに連なる圏域の発展こそ私の願い。
県議会議員六期二十二年目を日々全力で活動し続けています。

- ◎ 鳥海ダム of 早期着工
- ◎ 日本海沿岸東北自動車道の事業継続と圏域国・県道の更なる改良促進
- ◎ 農業振興施策の充実と下水道など生活環境整備事業の促進
- ◎ 商工業を支援する施策の更なる充実強化
- ◎ 少子高齢化社会に対応できる福祉施設の充実
- ◎ 情報化社会に対応する環境をレベルアップ
- ◎ 官公事業の県内業者への優先的発注と地元産品の優先使用
- ◎ 鳥海山麓地域は、次代の可能性に満ちたクリーンな産業の適地

青春

青春とは人生の或る期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎や情熱、怯懦を却る勇猛、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言ふのだ。年を重ねたては人は老い、理想を失ふ時、初めは老い、かゝる歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失ふ時に精神はしほむ。苦悶や狐疑や不安、恐怖、失望、こう言うもの、そは長年月の如く人を老させ、精氣ある魂をも芥に帰せしめてしまふ。年は七十である、と十六である、と、その胸中、抱き得るものは何か、驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きも似たる事物や思想に対する欽仰事、に處する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味、人は信念と共に若く、疑惑と共に老ゆる。人は自信と共に若く、恐怖と共に老ゆる。希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。大地より神より人より、美と喜び、勇氣と狂気、そして偉力の靈感を受くる限り、人の若さは失われぬ。これらの靈感が絶え、悲歎の白雲が心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを固くとすに至れば、この時にこそ人は全くに老いて、神の憐みを乞ふる他はなくなる。

サミュエル・ウルマン
サミュエル・ウルマン(一八四〇年―一九二四年)は、ドイツへヒンゲン出身のアメリカの詩人。ユダヤ系。

自由民主党 由利本荘市第二支部

〒015-0404 由利本荘市矢島町七日町字熊之堂4
電話 0184-27-5511 ファクス 0184-55-2324
http://ken-sato.sakura.ne.jp/ E-メール ken-sato@chokai.ne.jp

自由民主党会派と県民をつなぐ
Link リンク
発行/平成25年1月1日
ご質問、ご意見をお聞かせください。
編集/秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田山王4丁目1番1号【県議会内】
電話 018-860-2040 ファクス 860-2102

Link

2013.1 No.22

自民党は日本の命運をかけた戦いに勝利しました。この勝利は自民党に信任が戻ってきたのではなく、民主党政権の3年間の間違った政治主導による政治の混乱と停滞に終止符を打つべく、国民の判断だったのです。

勝つて兜の緒を締めよ。私たち県議会自民党会派は、国民の厳しい視線が今後も注がれ続けているという緊張感を持って、前に進み、結果を残して参ります。現在の日本の状況は経済においても、そしてまた教育、外交・安全保障、震災の復興においても、危機的な状況になっております。私たちには、この危機を突破していく、復興についてはスピードを挙げていく、経済においてはデフレを脱却して、円高を是正して経済を成長させていく。雇用を創出していく。そういう使命が課されています。

「日本を取り戻す」という本当の戦いはこれからであります。私たちは国民県民の皆様とともに頑張って参ります。

平成二十五年新春



新年明けましておめでとうございます。



秋田県議会議員 佐藤 健一郎

昨年、師走の総選挙に於いて私が所属しております、自由民主党はより多くの国民皆様からの支持を得て、3年4ヵ月ぶりに政権に復帰しました。

今から約140年前、日本の明治維新とほぼ同時期に誕生したドイツ帝国の初代宰相のビスマルクは政治家の仕事は「歴

史から学び、それを今の政治に生かす事だ」との言葉を残しております。

まさに今、その言葉を思い起こし「歴史に学ぶ心」が必要だと強く認識しております。

私も先人が積み重ねた歴史に学びながら活動して参ります。

こつこつと、着実に、秋田県は前へと進んでいます!



今回の補正予算は、国の「経済危機対応・地域活性化予備費」による公共事業や、県単独の離職者対策のほか、住宅リフォーム推進事業など、緊急的な経済・雇用対策のための予算が大半を占めていることが特徴です。

また「ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業として、県有種雄牛「義平福」号の普及拡大を図るための予算、県内で撮影される韓国ドラマ「アイリス」続編に関する予算などが盛り込まれました。

また、懸案事項だった秋田八幡平クマ牧場の「クマ受け入れ問題」については、北秋田市への施設整備に対する助成費を計上しました。

平成24年度
12月補正予算の概要

補正予算総額 **68億3,331万円**
[補正後 予算総額 6,259億円]

緊急的な経済・雇用対策

消費の下支え対策として土地改良などの公共事業を追加したほか、住宅の増改築やリフォームに対し補助する「あきた安全安心住まい推進事業」を増額しました。また、企業などが離職者を雇用して行う人材育成を支援する「緊急就職サポート事業」などに予算を計上しました。



戦略作物の生産拡大に必要な水田の排水強化対策

19億8,796万円

大区画ほ場整備事業

19億5,314万円

水産基盤の整備事業

2億9,630万円

間伐等の実施への助成事業

1億2,044万円

治山施設の整備事業

10億6,343万円

道路、河川等の整備事業

15億2,320万円

国直轄河川、土地改良事業負担金

3億1,500万円

あきた安全安心住まい推進事業

1億4,000万円

緊急就職サポート事業

1億2,543万円



「ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業

秋田八幡平クマ牧場のクマの受け入れ先である北秋田市に、阿仁熊牧場の施設整備設計費を助成するため2,000万円を計上しました。また、福祉医療、農林水産ビジネス、観光、教育などに関して予算を計上しています。



教育・人づくりの推進 4億1,187万円

- 県民が一丸となった脱少子化対策の推進として、子供を安心して育てることができる体制を整備するための、保育所の大規模修繕への助成
- 稲川養護学校高等部棟の増築工事

高齢社会に向けた福祉・医療の充実 4,380万円

- 介護施設の整備や開設に伴う準備費用への助成

総合戦略産業としての観光の振興 3,824万円

- 韓国ドラマ「アイリス」続編の秋田ロケーションへの支援

[トピックス]農林水産ビジネスの振興 1,030万円

- 県有種雄牛「義平福」号の普及拡大と県産畜産物の魅力を広く周知するためのイベント開催
- 大規模肉用牛肥育団地の施設整備等

市町村との協働の推進 500万円

- 県と湯沢市が策定した「資源活用型ゆざわ地域づくり推進プロジェクト」の推進に向けて市が実施する埋蔵文化財展示施設の整備などに対する「あきた未来づくり交付金」

その他 2,000万円

- 秋田八幡平クマ牧場のクマの受け入れに伴い、北秋田市が実施する熊牧場の施設整備に要する施設設計への助成



秋田が誇る種雄牛「義平福」の産子が、全国2位の快挙! 県産牛の生産拡大とブランド向上に弾み

和牛の国内最大規模の祭典で、5年に1度開催される「全国和牛能力共進会」で県有種雄牛「義平福(よしひらふく)」の産子が、県の過去最高の全国2位に輝きました。

本県の畜産に関連する話題としてはほかにも、県内3つの家畜市場を統合して昨年4月より稼働を始めた「あきた総合家畜市場」の誕生が挙げられます。

東日本大震災の影響で不振気味の畜産業界でしたが、全国2位の快挙と新拠点の誕生に今後の活性化が期待されています。今回の「全国和牛能力共進会」の会場は宮城県。1位獲得に向けて、県をあげた取り組みが始まっています。



▲県有種雄牛「義平福」



3つの市場が1つに!



▶あきた総合家畜市場

政権奪還、責任を新たに。秋田、そして日本の復興に全力を尽くします。

我々自民党会派は、より良い秋田県づくり・発展のために、これからも全力を尽くして参ります。その具体的なビジョンとして、以下の重点政策に一丸となって取り組みます。

◎日本海国土軸の形成

防災やリスク分散のために集中投資、日沿道の早期全線開通、老朽化したインフラの更新

◎成長産業支援の充実による景気回復と雇用の確保

中小零細企業の新分野進出への支援の充実、新エネルギー関連産業分野への参入促進、地域イノベーション創出の促進

◎地域医療の充実と少子化対策の充実

医師確保対策への支援、仕事と子育ての両立など総合的支援の充実、医療IT化の推進

◎農林業の供給力・競争力強化のための支援の充実

担い手の育成・確保のための支援の充実、森林機能発揮のために森林整備促進への支援の充実、例外なき関税撤廃を強いるTPPへの参加は反対

◎次代を担う人材育成のための環境整備

トップクラスの学力を持った人材のステップアップを図る政策の推進、知の拠点づくりの推進のための支援の充実

◎だれでも安心できる社会保障制度の確立

自助・共助・公助を組み合わせた持続可能な制度の創設

